

令和3年度九州工業大学免許法認定講習「情報」 受講生募集案内

九州工業大学では、教育職員免許法別表第3備考第6号および教育職員免許法施行規則第39条の規定による免許法認定講習を開講します。当講習では、高等学校教諭一種免許状または専修免許状を有する方を対象に、高等学校教諭一種免許状(情報)を取得するために必要な科目を開設します。

※ただし、2年間を通したカリキュラムとなっているため、免許状の授与資格を取得するために必要な単位を揃えるには、最大2年間受講する必要があります。

【免許法認定講習とは】

一定の教員免許状を有する現職教員等が、上位の免許状や他の種類の免許状を取得しようとする場合に、大学の教職課程によらずに必要な単位を修得するために開設されている講習です。

開設科目等

No.	開設科目名 (授業科目)	授与 単位	日数	受 講 料	受講定員	備 考
1	情報社会と教育	2	4日間	10,200円	30人	
2	情報倫理	2	4日間	10,200円	30人	
3	プログラミング	2	4日間	12,200円	30人	実習有
4	データ構造とアルゴリズム	2	4日間	12,200円	30人	実習有
5	データベース	2	4日間	12,200円	30人	実習有
6	情報ネットワーク	2	4日間	12,200円	30人	実習有
7	マルチメディア技術	2	4日間	12,200円	30人	実習有
8	教科教育法(情報)Ⅱ	2	4日間	10,200円	30人	

「実習有」の科目については、「情報リテラシー(計算機・ネットワークの使用法などの基礎的知識)」の内容を前提に授業を進めます。パソコンの操作に慣れていない方は、別途開講される情報教育支援士養成講座の「情報リテラシー」を、また「プログラミング」を受講される方は「プログラミング入門Ⅰ及びプログラミング入門Ⅱ」(1科目受講料9,800円)を事前に受講することをお勧めします。

開催場所

- 九州工業大学飯塚キャンパス(飯塚市川津 680-4)
- 九州工業大学サテライト博多(~~福岡市博多区博多駅中央街7-21 紙与博多中央ビル6F AGU博多~~)
福岡市近隣の会場
※「教科教育法(情報)Ⅱ」は以下の会場で行いません。
九州工業大学サテライト福岡天神(福岡市中央区天神 1-7-11 イムズビル 11階)
その他の科目については、決まり次第お知らせします。

2つの会場をネットワークで中継します。

※なお、新型コロナウイルスの感染状況によっては、オンラインでの遠隔講義となる場合がございます。

受講資格

他教科の高等学校教諭一種免許状又は専修免許状を有する方

受講条件

- ・自宅にパソコンがあり、高速のインターネット接続及びレポート作成可能な環境があること。
- ・会場にご自身のパソコンを持参し、受講できること。
パソコンの性能要件はHPIにてご確認ください。
- ※飯塚キャンパス受講者の方は貸し出し用パソコンを準備しております(台数制限有)。
希望される方はご連絡ください。
- ・Web 会議ツール「Zoom」を使用できること。事前に接続テストを実施する予定です。

申し込み・問い合わせ先：

九州工業大学 情報工学部 教務係（〒820-8502 福岡県飯塚市川津 680-4）

TEL:0948-29-7512 / FAX:0948-29-7517 / Email:jho-kyoumu@jimu.kyutech.ac.jp

講習料等必要経費

- 各コースの講習料に別途、振込手数料がかかります。
- 授業科目によっては、テキスト代が必要になる場合があります。(受講決定時にお知らせします。)

申込受付期間

令和3年2月26日(金) ～ 4月16日(金) ※消印有効で郵送にて受け付けます。

申込み方法

- 申込書類の提出先は、九州工業大学情報工学部教務係です。
- 下記の必要書類を揃えて、郵送にてお申し込みください。なお、書類に不備がある場合は受け付けられない場合がありますので、ご了承ください。
 - ① 受講申込書
 - ② 高等学校教諭一種免許状又は専修免許状のコピー
(裏面にも記載がある場合は、裏面も提出してください。)
- 申込み多数の場合は抽選となります。
- 受講決定者には講習料振込用紙を発送しますので、事前の納付は絶対に行わないでください。
- 電話等による抽選結果の問い合わせには応じられませんので、ご注意願います。

開講式およびオリエンテーション

- 以下の日時で開講式およびオリエンテーションを行います。

日時：令和3年5月9日(日) 10:00～12:30(予定)

Web 会議ツール「Zoom」を使用し、オンラインで実施します。詳細は受講者決定後に通知します。

内容：講義で使用する学習支援システム「Moodle」の説明、及び利用者登録等を行います。

単位の授与

試験、レポート等による成績評価で合格と判定された場合に単位を授与します。

また、各科目とも総授業時間数の5分の4以上の出席が求められます。なお、大学の通常講義と同じですので、不合格になることもあります。

申込書記入上の注意

1. 申込書は楷書でご記入ください。
2. 受講を希望する開設科目(授業科目)右側の受講希望欄に, ○印を付してください。
3. ○印の付した受講金額の合計を合計金額欄に記入してください。
4. ※欄は記入しないでください。
5. 申込みは, 郵送または持参にてお願いします。

お問い合わせの前に

下記ホームページに, よくある質問を掲載しておりますのでご参照ください。

<http://www.iizuka.kyutech.ac.jp/faculty/josi/license-law>

各開設科目の概要

科目区分	開設科目	科目の概要
情報社会・ 情報倫理	情報社会 と教育	情報社会の構造と特質の理解に基づいて、情報化がもたらす社会構造の変化、及び情報技術の革新がもたらす社会的影響について講義する。また、情報社会の諸課題を解決する情報技術と求められる倫理観についても言及する。さらに、情報社会における教育の変化や情報化について教えるとともに、情報教育や情報セキュリティ確保など教育の情報化におけるICT支援の内容や方法についても扱う。キーワード: 情報社会, 教育の情報化, ICT 支援, 情報教育
情報社会・ 情報倫理	情報倫理	高度情報社会における情報の恩恵(光)と問題(影)について、事例を示しながら解説する。また、その情報社会の光と影について適切に対応する知識や技術、態度を習得するための演習を行う。情報倫理に関する事象について理解したうえで、起こりうる問題に対応する知識や技術、態度を修得することを目的とする。キーワード: 情報倫理, 情報モラル, 情報社会の光と影
コンピュータ ・情報処理 (実習を含む。)	プログラ ミング	授業の前半は、C 言語の基本的なデータ型と演算、接続・選択・反復の制御構造、入出力を理解し、C 言語を用いたプログラム作成技術の習得を目標とする。後半は、最大値・最小値問題や簡単なソートの方法などにより、基本的なデータ構造・アルゴリズムについて学習する。さらには、関数やポインタ、文字列の処理などについて学習する。これらの目標を達成するため、授業は講義と実習を織り交ぜながら行う。キーワード: プログラミング, プログラム, プログラミング言語, C 言語
コンピュータ ・情報処理 (実習を含む。)	データ構 造とアル ゴリズム	「計算機で問題を解く」ためには、データを表現する「データ構造」とデータを処理する「アルゴリズム」を適切に選ぶことが必要となる。この講義では、抽象データ型に基づく構造化プログラミングの実際について学ぶ。また、基本的なデータ構造の代表として文字列やスタックなどを取り上げて、それらを用いた C 言語によるプログラミングを、講義と実習を織り交ぜながら学ぶ。キーワード: データ構造, アルゴリズム, 抽象データ型, 形式言語, 分割コンパイル
情報システム(実 習を含む。)	データベ ース	データベースは、計算機科学の中でもっとも基礎的な分野の一つである。データベース管理システムは、大量のデータを管理するシステムとして、広く応用されている。本講義では、データベースの基礎概念からデータベースの設計法、データベースプログラミングまでを習得することを目的とする。授業は講義と実習を織り交ぜながら行う。キーワード: データベースシステム, リレーショナルデータベース, SQL, PHP
情報通信 ネットワーク (実習を含む。)	情報ネット ワーク	情報ネットワークの仕組み、特にネットワークアーキテクチャの意義を理解し、ネットワーク工学の基本を身につけることを目標とする。毎日使うウェブ/メールの仕組みや、ネットワークセキュリティを講義と実習を織り交ぜながら学ぶ。範囲は原理の学習からパソコンのネットワークコマンド操作やウェブページ作成、さらに信号データの解読までを含む。キーワード: 情報・通信, ネットワーク, ネットワークセキュリティ
マルチメディア表現・ マルチメディア技術 (実習を含む。)	マルチメ ディア技 術	マルチメディアの主要部分である音声メディアと画像メディアに関して、それらの信号処理技術の中核である符号化技術、及びそれらをインターネット上で扱うための技術について講義する。また、GUIを用いた音声メディア、画像メディア、3D アニメーションなどに関する実習を通じて、情報メディアとそれを扱うためのユーザインタフェースや、メディアの特性とインタフェース技術の関係を理解することを目的とする。授業は講義と実習を織り交ぜながら行う。キーワード: マルチメディア, ユーザインタフェース, バーチャルリアリティ
各教科の指導法 (情報機器及び 教材の活用を含 む。)	教科教育 法(情報) Ⅱ	Society5.0 実現に向けて、学生や社会人が情報科学の素養を身に付けるための受皿となる情報科学系教育体制の充実が求められている。高等学校の教科「情報」では、情報に関する幅広い知識とともに、コンピュータや情報通信ネットワークを活用する実践力と、情報モラルの育成が必要である。教科教育法(情報)Ⅱでは、教科「情報」の授業に焦点を当て、授業計画、授業環境の整備、学習評価、教材開発、指導案の作成、授業実践の方法などについて学習し、模擬授業を実施し、評価・改善して教科「情報」を担当する教師としての実践的な力量の形成をめざす。キーワード: 高等学校情報科, 教育目標, 教育内容, 教育方法

免許法認定講習受講申込書

教科:「情報」

						写 真 (6ヶ月以内のもの)	
※の箇所は記入しないこと。						記入日 令和 年 月 日	
受付番号	※			直近の 受講年度	年度		
フリガナ				性別	男・女	生年月日	昭和・平成 年 月 日
氏 名							
E-mail アドレス	(自宅・勤務先・携帯)						
フリガナ							
住 所	〒						
	電話 ()			携帯			
勤 務 先							
勤 務 先 所 在 地	〒						
	電話 ()						
受 講 申 込 欄							
No.	開設科目(授業科目)	受講 希望	受講金額	備 考			
	開講式およびオリエンテーション			* やむを得ず欠席する場合は受講希望欄に「×」を記入すること。			
0	情報リテラシー		9,800円	(*1)			
	プログラミング入門Ⅰ		9,800円	(*1)			
	プログラミング入門Ⅱ						
1	情報社会と教育		10,200 円				
2	情報倫理		10,200 円				
3	プログラミング		12,200 円				
4	データ構造とアルゴリズム		12,200 円				
5	データベース		12,200 円				
6	情報ネットワーク		12,200 円				
7	マルチメディア技術		12,200 円				
8	教科教育法(情報)Ⅱ		10,200 円				
合 計 金 額		円		希望会場(いずれかに○) 飯塚 ・ 福岡			

(*1) 情報教育支援士養成講座の「情報リテラシー」は実習を含む科目,「プログラミング入門Ⅰ」,「プログラミング入門Ⅱ」は「プログラミング」の受講に必要な基礎的知識を修得することができます。特に, パソコンの操作に慣れていない方は「情報リテラシー」を受講されることをお勧めします。